



パンフレット AW025
2003年9月作成
工業用

編み立て油の乳化分散精練剤

マルチノールC - 24

(MULTINOL C - 24)

各種繊維においては、素材・織編の高速化、組織の差別化にともない、使用された編み立て油またはワックスの除去不足や、再付着が原因と考えられるトラブルが多くなっています。従来これらの問題に対し、溶剤精練や高アルカリ液での乳化・分散・洗浄方法が取られていましたが、作業性・浴のpHの問題があり使用範囲が限定されていました。

マルチノールC - 24は酸性浴～アルカリ浴の幅広い範囲で使用でき、編み立て油・オイルやワックス類・その他不純物の乳化分散性に優れた精練剤です。

性質・性状

外観	淡黄色液体
成分	特殊ノニオン活性剤配合品
イオン性	ノニオン
pH	約2.5(1%水溶液)
溶解性	任意の割合で水に溶解します。

特徴

1. アルカリを併用しなくても、ニッティングオイルやワックス類の乳化分散性に優れ、再付着を防止します。
2. 低温でも乳化分散性に優れた効果を発揮します。
3. 単独使用では酸性浴となり、アルカリ洗浄を嫌うウール・アクリルまたはそれらの混紡、交織物の精練剤として適しています。
4. アルカリ剤を併用することにより活性力を増し、綿およびそれらの混紡、交織物のニッティングオイルやワックス類を除去すると同時に、綿に含まれる不純物も除去します。
5. 希釈安定性にも優れ、溶解時に増粘することはありません。
6. 塩素系有機溶剤を含まない精練剤です。

使 用 方 法

被処理物の種類・形態、処理法により異なりますが、一般的には下記の通りです。

酸性浴法

マルチノール C - 2 4 1 ~ 2 g / L

アルカリ浴法

マルチノール C - 2 4 1 ~ 2 g / L
 ソーダ灰 1 ~ 2 g / L (or 苛性ソーダ 0.5 g / L)

5 0 ~ 9 5 × 1 5 ~ 3 0 分

試 験 例

1 . 酸性浴処方 (ウール、アクリル等)

マルチノール C - 2 4 自体酸性浴となります。従って特に羊毛の等電点洗浄が可能です。

処理浴 p H (5 0 × 2 0 分)

結 果 :

(p H)

C-24	1g/L	2g/L	3g/L	4 g/L	5g/L
洗浄剤単独	3.0	2.7	2.4	2.3	2.2
被染物併用	5.7	5.0	4.4	3.9	3.4

[前精練試験]

試料：ウールサージ

試験方法：ウールサージに鉱物オイル (ベキシラー G) 1 ml 滴下、一昼夜自然放置後、100 × 5 分乾燥し、脱オイル性を試験。(5 0 × 1 5 分)

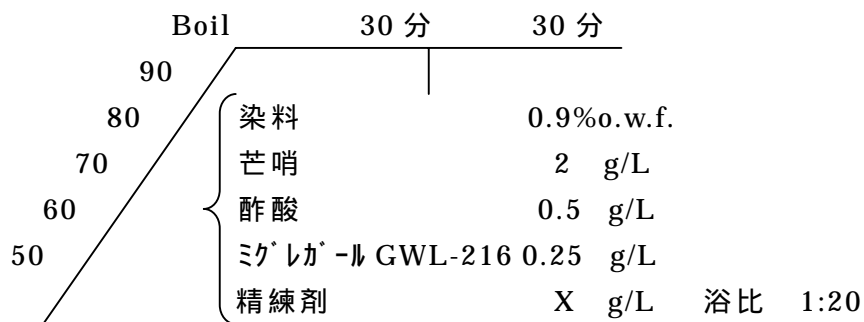
結 果 :

無添加	マルチノール C-24		某社品 A		某社品 B	
	1g/L	2g/L	1g/L	2g/L	1g/L	2g/L
× ×			~ ×	~ ×	×	×

[染浴投入試験例]

上記、前精練試験用に作成した試料を染色し、各ポイント（1～8）における脱オイル性を判定。

染料	{	Acid Yellow	61	0.3 % o.w.f.
		" Red	118	0.3 % o.w.f.
		" Blue	82	0.3 % o.w.f.



結 果 :

無添加	マルチノール C-24		某社品 A		某社品 B	
	1g/L	2g/L	1g/L	2g/L	1g/L	2g/L
×	~		×	×	× ~	× ~

2. アルカリ性浴処方（綿、麻混等）

マルチノール C - 24 にアルカリを併用することにより、ニッティングオイルおよびワックス類と同時に繊維に含まれる不純物を除去し、生地自体の吸水性を向上します。

処理浴 pH（室温）

マルチノール C - 24 2 g/L + アルカリでの浴 pH の関係

(pH)

アルカリ剤	1g/L	2g/L	3g/L	4g/L
ソーダ灰	10.3	10.7	10.7	10.7
苛性ソーダ	12.3	12.7	12.8	12.8

[精練性試験例]

A) 鉱油に対する精練性試験 (RCスピンドル油を使用)

試料：綿ニット

試験方法：綿ニットに鉱油を1滴、滴下し風乾後、各精練剤にて精練する。

精練剤 : 1) マルチノール C - 24 2 g/L
 2) 当社従来品 "
 3) 某社品 A "
 4) 某社品 B "
 精練処方 : イ) 精練剤単独 2 g/L
 ロ) { 精練剤 2 g/L
 { ソーダ灰 2 g/L
 ハ) { 精練剤 2 g/L
 { 苛性ソーダ 0.5 g/L

精練条件：Boil x 20分 浴比 1 : 20 精練 水洗

判定：Dianix Violet 3R-FS 1% o.w.f. 60 x 5分トッピング。

結果：

	精練剤単独	ソーダ灰併用	苛性ソーダ併用
マルチノール C-24	~	~	~
当社従来品	~		
某社品 A	~		
某社品 B	x	~	

B) パラフィン油に対する乳化分散性試験 (流動パラフィン 350 を使用)

試験方法：綿ニットに鉱油を1滴、滴下し風乾後、各精練剤にて精練する。

精練剤 : 1) マルチノール C - 24 2 g/L
 2) 当社従来品 "
 3) 某社品 A "
 4) 某社品 B "
 精練処方 : イ) 精練剤単独 2 g/L
 ロ) { 精練剤 2 g/L
 { ソーダ灰 2 g/L
 ハ) { 精練剤 2 g/L
 { 苛性ソーダ 0.5 g/L



マルチノール C -24

精練条件：Boil × 20分 浴比 1：20 精練 水洗
判定：A)と同様の方法にて判定。

結果：

	精練剤単独	ソータ [®] 灰併用	苛性ソータ [®] 併用
マルチノール F-26			~
当社従来品		~	
某社品 A		~ ×	~ ×
某社品 B			~ ×

ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

18 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所(5 ~ 35)で保管して下さい
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート(MSDS)」を用意しております。併せてご活用下さい。